わだまんサイエンス、「ベトナム産胡麻若葉」上市

わだまんサイエンス（075・222・7318）は、アクテオシド・ペダリインなど複数のポリフェノールを含有する「胡麻若葉」の原料として、国産原料に加え、今夏より「ベトナム産胡麻若葉」のサンプルワークをスタートする。青汁市場に向けて提案する。

ミャンマー・ベトナム産胡麻若葉「胡麻黒八」は、日本・韓国・台湾で「アルツハイマー型認知症抑制剤」として、日本で「変性タンパク質低減剤」として特許を取得済み。葉主体（茎を除く）を原料化し、国産胡麻若葉と同じく、アクテオシド（約1％～3％）、ペダリインなどのポリフェノールを高含有する。

アルプス薬品工業、ケルセチン原料で血管対応表示

アルプス薬品工業（06・6201・4561）は、高吸収型ケルセチンとして特許取得済みの「ユビオケルセチン」について、新たに「加齢とともに低下する血管のしなやかさ（血管を締め付けた後の血管の拡張度）の維持に役立つ機能」表示が受理された。すでに受理実績のある「やる気の維持」「中性脂肪の吸収抑制」と合わせたトリプル表記も対応可能になる。

「ユビオケルセチン」は、腸内細菌へ効率よく届けるため、ケルセチンを体内へ吸収しやすくしたもの。人工的な改変でなく、自然素材の組み合わせだけで可溶化した100％ナチュラル製剤である点を特長としている。

「水100㎖に48g溶解し、ケルセチンの24万倍の溶解度があるなど、吸収性を向上させている」という。

同社では10月14～16日に開催される食品開発展に出展。ユビオケルセチンについて、「メタボ・アクティブケア」「ウェルビーイング・インナーケア」「クイックケア・オーラルケア」の3テーマで、アプリケーションを提案する。

アサヒグループ食品、グミサプリ1・7万店舗に出荷

アサヒグループ食品は24日、都内で新製品等の発表会を開催した。9月7日に、グミタイプのサプリメント「グミナチュラ」シリーズとして、「マルチビタミン オレンジ味」など4品を上市。発表会では、3年前から商品開発に着手、サプリメントの薬的なイメージを軽減する剤型としてグミを採用したことを説明した。「果実由来のペクチンを使用し、じゅわっと広がる食感を実現させた。また、シュガーレス設計に仕上げた」としている。「食べる栄養サプリ」として、俳優の長澤まさみさんを広告塔に起用し、ドラッグストア中心に展開していく。取り扱い店舗は、「目標を上回る1万7000店舗になる見込み」という。

このほか、「スリムアップスリム」ブランドの「シェイクミール」シリーズからスープ2品を上市。また、「ディアナチュラ」ブランドのパウチタイプ「ディアナチュラスタイル」から、「ディアナチュラスタイル エクオール×大豆イソフラボン20日分」を発売する。